

インパクト志向金融宣言

第3回代表者総会兼
第9回ワーキングレベル会合 議案書

2024年1月25日09:30～11:30
オンライン・リアル同時開催

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

決議事項一覧

- 議長・副議長選出
- (第1号決議事項) 第13条2項に基づく運営規程の改正及び本格的導入
- (第2号決議事項) 第13条4項に基づく運営委員の選任
- (第3号決議事項) 第13条5項に基づく監事の選任
- (第4号決議事項) 第13条7項に基づく年次事業報告の承認
- (第5号決議事項) 第13条8項に基づく予算に対する考え方の承認
- (第6号決議事項) 第13条9項に基づく年間事業計画の承認

第1号議案 第13条2項に基づく運営規程の改正及び本格的導入

現行運営規程はこちら

添付運営規程案の通り運営規程を改訂したい(修正箇所は以下参照)。

条項	修正内容及び理由
第6条 署名金融機関及び署名協力機関の権利及び責務・義務	責務(宣言に基づく一般的努力責務)と義務(地位取り消しに紐づいた履行義務)とを差別・区別して明文化 *9月の運営委員会にて既に決議済
第13条第2項 総会決議事項運営規程の改定部分 第23条第3項 運営委員会決議事項	運営委員会が運営委員の全会一致で合意した軽微かつ事務的な事由に基づく運営規程の改正については総会に付議することなく運営委員会の決議において改正することができることを明確化。但し、署名機関への速やかな報告を行う
第13条第5項 監事の言及部署を修正	5. 第14条に規定する議長・副議長、 第29条に規定する 監事の選任及び解任
第14条第1項	「副議長」 を設置
第9条第2項 (宣言文変更に関する)総会決議	宣言文変更を「出席機関」ではなく 「全機関」 の特別多数決によるとする
第22条第2項 運営委員会の構成	運営委員は、署名金融機関の中から、年次総会の決議によって、 最夫12名→12名程度選任 されるものとする
第22条第6項 運営委員会の構成	企画チームの座長による運営委員会参加を定めたもの
第35条 事務局	実態に合わせて規定を改定
第36条 事務局の役割・権限	外部からの照会への対応及び広報活動 に係る事務 補佐

第2号議案 第13条4項に基づく運営委員の選任

以下の立候補者を2024年の運営委員に任命したい。

立候補者一覧 敬称略

(現運営委員)

1. 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 フェロー役員 金井 司
2. リソナアセットマネジメント株式会社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員責任投資部担当 松原 稔
3. 京都信用金庫 ネクストコミュニティ共創部 課長 石井 規雄
4. 株式会社静岡銀行 コーポレートサポート部 部長 岩本 進也
5. 第一生命保険株式会社 責任投資推進部 部長 岡崎 健次郎
6. 三菱UFJ信託銀行株式会社 MUFG AM サステナブルインベストメント フェロー 加藤 正裕
7. 株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部 副部長 末吉 光太郎
8. 株式会社SBI新生銀行 執行役員 サステナブルインパクト推進部長 長澤 祐子
9. リアルテックホールディングス株式会社 取締役社長 藤井 昭剛 ヴィルヘルム
10. GLIN Impact Capital 代表パートナー 中村 将人

(新規)

1. 株式会社かんぽ生命 執行役員兼運用企画部長 野村 裕之
2. 株式会社DGインキュベーション 堤 世良
3. 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ(KII) プリンシパル 産学連携学会理事 宜保 友理子

第3号議案 第13条5項に基づく監事の選任

以下の立候補者を2024年の監事に任命したい。

明治安田生命相互株式会社 運用企画部 責任投資推進室 室長 細川 真典

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 青木 武士

第29条(監事)

1. 年次総会において、署名金融機関の中から2名の監事を置き、互選によってこれを定める。
2. 監事は、一つの署名金融機関から最大一名を任命することができる。
3. 監事の任期は、選任された年次総会の日から次々回の年次総会の開催日までとし、再任を妨げない。ただし、任期は2期を超えないものとする。
4. 監事は、本宣言の活動状況(決算を含む)を監査し総会に報告する。
5. 監事は、その職務の遂行のために、必要に応じて運営委員会に参加できる。
6. 監事は無報酬とする。

第5号議案 第13条7項に基づく年次事業報告の承認

以下の年次事業報告を承認したい。

2024年1月15日に年次事業報告(プログレスレポート) (以下概要)

- 2023年9月1日時点 署名機関・賛同機関インパクトファイナンス残高 63機関の残高合計 (12非公開)
- 10兆7,240億円の「インパクトファイナンス」を確認 (昨年3兆8,500億円より3倍弱)

レベル1+2 **合計 10,723,999 百万円**

環境 
合計 5,175,701 百万円

社会 
合計 872,487 百万円

環境 & 社会 
合計 4,675,811 百万円

第4号議案 第13条8項に基づく予算に対する考え方の承認

以下の予算に対する方針を承認したい。

- 2024年(2024年1月～12月)の事務局経費は、1～3月分については、社会変革推進財団により予算化済、4月以降については日本財団審査中
- 特定のイベントに紐づけて必要な経費を賄うため、署名協力機関等から協賛金の獲得を目指していくこととしたい
- なお、その場合、以下の準備及び実務が必要となる
 - 銀行口座(なお、任意団体のため、「インパクト志向金融宣言事務局 個人名」の口座となる)
 - 入出金管理
 - 任意団体としての領収書の発行
 - 一定の範囲で残金も生ずる
 - 会計処理は事務局にて行い運営委員会に報告
 - 期末に監事監査を実施

第6号議案 第13条9項に基づく年間事業計画の承認

- 別添資料の年間事業計画を承認することとしたい。